因伯だより

いんぱくだより

2016 新春

児童養護施設
因伯子供学園

〒682−0854
鳥取県倉吉市
みどり町3249

TEL 0858-22-2639
FAX 0858-47-0234

ホームページ
http://www.
inpakukodomo.jp/

みなさん、こんにちは。今年は暖冬ということで例年より雪も降らず、暖かいのですが、春が確実に顔を見せるまでもうしばらく体調管理など、気を引き締めて頑張らなくては、と感じるこの頃です。

今年は申年となります。申年とは、「申（サル）」が「去る」という意味を表しており、「悪いことが去る」や「病が去る」など、いいことや幸せがやってくるという年とする一説があるようです。みなさんにとって健やかで良い一年となりますよう願っております。

そんな想いも込め、因伯だより新春号をお届けいたします。

この度の因伯だよりを発行、今年の１１月で因伯創立１１０周年を迎えるにあたり、創立当時はどのような時代であったのかも興味深く、今から１１０年前（創立の１年前）、１９０５年の世界の出来事をひとつの記事として取り上げております。因伯子供学園の現在はもちろんのこと、過去の時代背景についてもみなさんの理解の参考にして頂ければと思っております。昨年の４月には新人職員も２人加わり、紹介しております。今後活躍の場が増えていくと思いますので、是非ともお見知りおきいただけたらと思います。

２７年度の遠足

２７年度の学園遠足ですが、各棟別々の遠足計画をたてそれぞれ実施、小中高が別での実施はありましたが、各棟での実施は今年が初めての試みでした。

女子棟は小学生が姫路セントラルパーク、中高生が大阪にお出かけの計画をたて、１０月１７日バスを利用して行きました。小学生の姫路セントラルパークは以前よりもう一度行きたいという声が多く、今回もとても満足していました。中高生の大阪も、目的とするところにそれぞれ足を運び、満足のいく遠足となったようです。

男子棟は１２月１２日に青春１８きっぷをもち香川の方へ一泊し、うどん県の魅力を堪能したようです。自らの足で行動した上での経験は自分の力となったでしょうし、たくさんの思い出が出来たようです。土産話をたくさん聞かせてもらい、写真を見せてもらうと男子棟らしい色が出ていました。遠足で一泊する計画は学園初の試みでした。

ホームは１１月２２日、大阪の方に公共機関を利用してガンバ大阪対モンテディオ山形のサッカー観戦に行きました。学校の行事等と重なり、時間を少し遅らせてと二陣に分かれて行くこととなりましたが無事に合流し、観戦、無事に帰園。普段テレビで観ているサッカー選手を直に見ることが出来とても良い充実した一日となったようです。ホームのサッカー少年達にとっては良い刺激になったようです。

今後とも子どものニーズはもちろんのこと、外の社会により多く触れ、子ども達にとって価値のある遠足を企画していきたいと思います。

新ホーム増築案

施設小規模化が推進されている現在、因伯子供学園も新しいホームの建築計画が進められています。来年の竣工を予定としており、本学園のグランドの一部に建設予定としています。創立１００周年の際に建てられた記念ホームと合わせて２つ目のホームとなります。

建物内のリビング・居室等の間取りについても職員会をはじめあらゆる場で議論を重ねました。それにともない職員の配置・体制についても今後どのように構築していくか更なる議論が必要になっていく事と思います。

現在の学園の本園はこのままの形に残し、今後どのような役割を果たしていくか、この点も加えて大きな課題となるでしょう。子どもたちにとってより良い学園となるよう、知恵を出し合い考えていきたいと思います。

避難訓練と芋煮

１１月７日園内にて火災発生を想定した避難訓練を実施しました。避難時・非常時の説明と非常食（お米）の説明を受け、どのように作るのかみんなで実際にお米を量り、非常食用の袋に入れる作業を体験しました（写真右下）。その延長という形で職員があらかじめ作っておいていたアツアツの芋煮を非常食米と一緒に頂きました。

いつどんなことが起きるのか分かりません。訓練を今後も継続していくことはもちろん、自分の事は自分で守るという意識が大切ですね。

学園の芋煮については少し年季が入っており９５年から９８年まで楽友会との交流から始まり（学園が芋煮、楽友会は焼きそば・ポップコーン・わたがし）、その後は学園のみで０３年・０４年・０６年・０７年そして今回という、とても久しぶりの芋煮でした。避難訓練、非常食と芋煮をかけて、とてもおいしく有意義な時間となりました。

新人職員の紹

今年度から2名の新人職員が加わり、元気と活気があふれています。

2名の新人職員を紹介したいと思います。

山本昇太（やまもと　しょうた）（保育士）

男子棟担当

皆さんこんにちは。今年度より因伯子供学園で働かせていただいております、山本です。よろしくお願いいたします。昨年度まで鳥取短期大学で保育について2年間勉強していました。

因伯子供学園に初めて訪れたのは昨年の保育実習でした。この時の実習で、子どもたちや職員の方々と出会い、それまでぼんやりとしていた進路が開けたと感じました。私もここで働いてみたいと思うことができました。それだけ大きな出会いでした。

就職してからは子どもの気持ちに寄り添い安心感を与えることの出来る存在になりたいなど、子どもの力になりたいという思いでした。ですが実際は、そううまくいかず、後悔や反省することばかりです。私が子どもの力になるというより、自分自身が子どもたちに成長させてもらっていると感じています。少しずつではありますが失敗や反省を繰り返し子どもと一緒に成長していきたいです。

就職し半年が経ちましたが、笑いの絶えない明るい雰囲気の職場なので、毎日楽しく勤務させてもらっています。子どもとの関わりの中でうまくいかないことや落ち込むこともありますが、強力な先輩職員の方々に助けていただいています。そんな先輩方を見習い私も一職員として活躍していきたいです。よろしくおねがいいたします。

海水浴にて

岡空貴（おかそら　たかし）（保育士）

女子棟担当

今年度から、本学園の女子棟で働かせていただいております、岡空貴と申します。

僕は高校時代、引きこもりや中退を経験しました。辛い経験ではありましたが、児童養護の分野では活かせる経験であり、子どもと関わる上で自分なりの色を仕事に活かせられるのではと考え児童養護の保育士を目指しました。

そして短大での実習でここにこさせてもらいました。実習を経て因伯でなら、自分を磨きながら子どもたちと関われ、自分らしさも発揮出来るのではないかと思い、ここの就職試験を受けるに至りました。

女子棟の担当をさせていただき、早くも半年が経ちました。毎日、失敗ばかりで課題は山積みですが、これからの課題として「褒める」こと、「叱る」ことのバランスをきちんと見極めながら子どもたちと関わっていこうと思っています。

そして、子どもの気持ちを理解できる優しくて時々厳しい職員になっていきたいと思っています。よろしくおねがいいたします。

といった2名の新人職員を紹介しました。もう既に知っておられる方もおられると思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。

入学祝いにて

学園行事の紹介

昨年秋から今年の秋までの学園行事を紹介します。

平成２６年 秋

１１月２３日　学園遠足

学園みんなで須磨水族館に行きました。様々な魚をはじめたくさんの生き物が元気に活動していました。小さな遊園地もあり楽しい一日となりました。ペンギンの行進にしてもイルカのショーにしても、とてもきびきびとした素敵なステージでした。

冬

１２月２３日　もちつき（写真左上４枚）

今年も富士警備保障の皆さんにお越しいただき、餅つき大会を開催することが出来ました。今年は天気良好で外にて青空の下、たくさんのお餅をつくことができました。一足早くサンタクロースが来られ、お菓子・図書カードのプレゼントを頂きました。子どもたちも大変喜んでいました。富士警備保障の皆さん、毎年貴重な体験をさせていただきありがとうございます。

１２月２５日　クリスマス会（写真左下４枚）

毎年最後を飾る学園行事ですね。内容はほぼ毎年変わらず、各棟出し物・ビンゴゲーム・ジャングルジムスーパーライブ・サンタクロース来園というプログラムでした。ジャングルジムさんは毎年学園のクリスマス会を盛り上げて下さる学園のスーパーミュージシャンです。毎年ありがとうございます。今年も因伯らしい楽しいクリスマス会になりました。

平成２７年 春

平成２７年

夏

８月４日　海水浴（石脇海水浴場）（写真左上４枚）

今年も天候に恵まれ、子どもたちにとって本当に楽しい１日となりました。今年はバレーのネットが張ってあり、海水浴以外の楽しみも増えていました。海の他に昼食のカレーライスと焼き鳥とスイカそしてアイスがあれば何も要らない、そんな一日でした。見える風景は子ども達みんなの笑顔ばかり、毎年この日の天気は晴れでお願いしたいですね。子どもの直の声ですが、１番好きな行事は海水浴との声が多いです。

８月８日　そうめん流し（写真左下４枚）

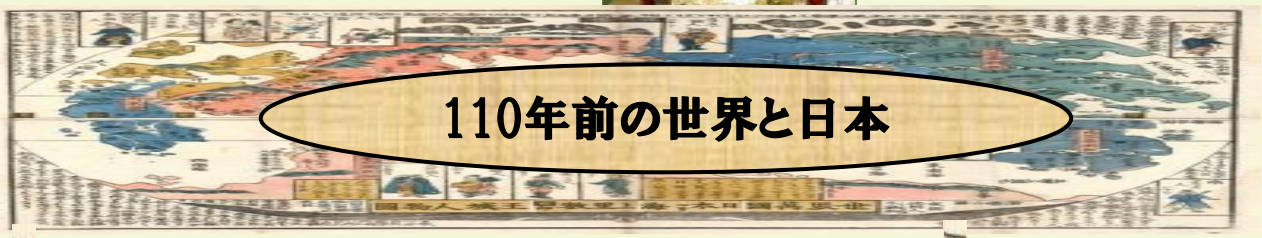
今年も地域の皆さんにも手伝って頂き、そうめん流しを開催することが出来ました。今年のそうめん流し台は地域の方のアイデアで龍をイメージとした、とても見事なそうめん流し台となりました。素敵なアイデアをありがとうございました。来年も開催する予定ですので、みなさん是非お越しください。

秋

１１月１５日　創立記念祭（写真右上４枚）しゃべりば（写真右下４枚）

今年で因伯子供学園は、創立１０９周年を迎えました。子ども達と職員でごちそうをいただき創立１０９周年をお祝いしました。園長先生から勉強に頑張った子の表彰式もあり、たくさんの子が表彰され、とても喜んでおりました。また１年後の創立記念祭まで、子ども達・学園が元気で過ごせるよう祈っています。

創立記念祭の後、学園児童・職員が全員参加でしゃべり場が開かれました。しゃべり場は以前より定期的に開かれており、子ども達が学園の生活について、要望等を挙げみんなで話し合う貴重な意見の場となっています。今回の議題は女子棟にテレビをもう一台増やして欲しいという内容でした。学園の主役は子どもたちです。今後とも子ども達が意見を言える一つの場として大切に取り組んでいきたいと思います。



110年前の世界と日本

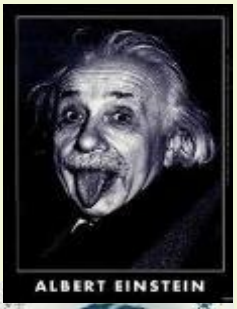
当学園は現在創立１０９年目となり、今年の１１月で創立１１０周年を迎えます。１１月の１１０周年にむけて、１１０年前の創立時はどのような時代・背景であったのか興味深く感じます。今現在は１０９年目と節目としては区切りの悪いところではありますが、今から１１０年前(創立の1年前)の世の中の動きをリサーチしてみました。

１９０５年(明治３８年)

内閣総理大臣　桂太郎【日本は日露戦争中(１９０４年２月８日～）】

１月●旅順開城(乃木希典)●血の日曜日事件(第1次ロシア革命)
３月●奉天占領(陸軍記念日)
５月●日本海海戦でロシア艦隊全滅(海軍記念日・東郷平八郎)
７月●日露戦争終結
９月●ポーツマス講和条約
１１月●中央報徳会設立(留岡幸助・新渡戸稲造等)
１２月●韓国統監府の設置(初代統監伊藤博文)●山縣有朋枢密院議長親任

と、いった出来事が起きていますが、その他にも、
●アルベルト・アインシュタインが光量子仮説・ブラウン運動の理論・特殊相対性理論に関連する５つの重要な論文を発表し物理学の「奇跡の年」と言われた。結果、1921年にノーベル賞受賞。●隠岐島と鬱陵島の間にある島を日本政府が閣議で竹島と命名、島根県隠岐島の所管とした●神戸製鋼所創業●奥羽線、福島・青森全通●日本最初の乗合自動車(バス)広島市に開業●森下南陽堂、仁丹発売●新橋(東京)・下関間に直列列車運転開始、所要時間３７時間●奈良県鷲家口でニホンオオカミの捕獲、確かな最後の発見、ニホンオオカミ絶滅の年とされる●日本で最初の大使館がイギリスに設置●ノルウェーがスウェーデンから独立●フランスで社会党結成●JXホールディングス(ENEOS)の前身である日本鉱業設立●三矢平野鉱泉株式会社が三菱の後をうけ清涼飲料水を作る(後の三矢サイダー)＊他説あり●アンパンの駅売りが始まる(アンパンの考案者は木村屋創業者の木村安兵衛)●岡山市・神戸市水道竣工●大阪ガス会社開業●絵葉書の流行●ファッションデザイナー、クリスチャンディオール誕生(ディオール創始者)
●出版物としては石川啄木「あこがれ」、島崎藤村「破戒」、三木露風「夏姫」、夏目漱石『ホトトギス』１月号で「吾が輩は猫である」連載開始●婦人画報創刊
●東北地方で大凶作、岡山孤児院(石井十次)へ送られた児童の数は800人を数え
等、といった出来事が起きていました。



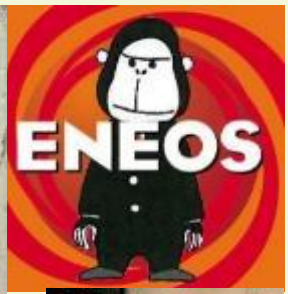
アルベルト・アインシュタイン

東郷平八郎

乃木希典

クリスチャン・ディオール

夏目漱石



改めてみてみると、現代の日本の原点となる産業・企業の誕生という歴史がいくつかあったようですね。三矢サイダー、エネオスは慣れ親しみはありますよね。以前話題になっていた竹島もこの年に閣議で日本の所管となっていたようです。現在に至る興味深い出来事ですね。天才の代名詞と言われているアインシュタインは死去する前年に、ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下されることが予期出来ていればこの論文は破棄していたと言葉を残している。ということは、日本への原爆投下が分かっていたのであればノーベル賞は存在しなかったという解釈も出来ますね。日露戦争といえば日清戦争に続けて日本が勝利し、景気が良好なイメージがあるかもしれしれませんが、日露戦争以前から日本には借金があり、日露戦争時も多大な経費を費やして戦争に充てていた。そのため日露戦争で勝利を収めたが賠償金をとれなかったのは大きな痛手であったよう(賠償金とは負けた国が支払うもの、ロシアからすると負けたのではなくアメリカからの講和条約に応じただけ、日本としても国は貧しく戦況はギリギリであった為講和条約に応じるしかなかったという現状)。国民の生活は困窮の中にあった。

このような背景の1年後に当学園の前身として孤児貧児を救済・保育・教養する目的として因伯仏教孤児院が誕生する。どれだけ貧しい時世であったか自分では想像することも容易ではない感覚がある。

今年１１月に創立１１０周年を迎えるにあたり、１年前からでは世の中の流れを把握することは難しいかもしれませんが、創立された時代背景の理解に少しでも役立てていただければと思います。

今年の秋号には、因伯創立の年１９０６年の世界と日本の出来事をリサーチしたいと思っております。お楽しみに。

参考文献：ウィキペディア
：「坂の上の雲」マニアックス（明治時代年表）
：世界の出来事１００年史
：因伯子供学園１００周年記念誌

因伯子供学園への
ご寄付に感謝申し上げます。

2014年度から2015年12月まで、ご寄付いただいた方々は下記のとおりです。
心より感謝し、ご報告申し上げます。　敬省略

寄付者	物品寄付者		
相見槻子	大西智之	倉吉信用金庫	みどり町夏祭り実行委員
生田百合子	岩田裕司	安納スウィーツファーム	鈴本輝
京力美穂	楽天株式会社	山陰中央新報社鳥取総局	倉吉きりんの会
保育専門学院同窓会	鈴木光平	(株)ガイア	富士警備保障
倉吉地区更生保護女性会	明治安田生命	日本鏡餅組合	徳永洋子
いきいき夢くらぶ	成徳支部更生保護女性会	山陰リンクの会	ケーキショップ　チロル
杉山裕之	満正寺	前田修志	ミモザの会
河本充弘	福井聰志	アイスクリーム協会	ダスカリデスグループ
国際ソロプチミスト倉吉	鳥取県運動用具商協同組合	全国シャンメリー協同組合	ウォーキングギア２００１
鳥取中央農業協同組合	エパタおばあちゃん	斎藤正七郎	礒谷弘子
鳥取県労働者福祉協議会	湯梨浜でクラシックを聴く会	モルテン大阪支部	地球ECO運動市民の会
中国遊技機商業協同組合	エスプリ・ドゥ・フルール	家畜病院モウモウETセンター	谷田典子
森田玲子	河原廣美	妙寂寺	因伯子供学園OB
サンタホーム	鳥取中央農業協同組合		
石亀政道			

編集後記

編集にあたり、去年1年を自分なりに振り返ると夏が印象的な年でした。昨夏は、約14年ぶりに県養キャンプin大山に参加しました。初めはカヌーだと聞いており参加表明した次第が、大山登山に変更・・、楽をしようとしていた自分への天罰だったのでしょうか？結果的には何とか登頂出来たのですが、保険に買っておいていたウォーキングのスティックのおかげだったのは間違いないはずです。下山時は滑りこける事が数回ありましたが、こけた時は真っ先にカメラを心配し、身体への心配・痛みは最小限でした。県養キャンプ参加者全員の登頂となり、欠けなくてよかった、というのが正直な気持ちでした。無事に3日間の県養キャンプから帰園となるが、その日の夜はみどり町夏祭りで焼鳥部隊に参加させて頂き、とても暑く、さらにさらにとても熱い3日間となりました。これまでにないインパクトの強い夏でした。夏祭りの焼鳥部隊には毎年でも参加したいのですが、県養キャンプに関してはしばらく休憩したいと思っています。そんな夏が印象的な一年でした。今年はどのような1年になるのか楽しみです。

近年、広報誌の因伯だよりを続投で編集させて頂いています。年を重ねる毎に一層内容にもレイアウトにも工夫を凝らすのは当然ですが、皆さんの近くに感じられる透明感のある学園であれるよう、因伯だよりにもより想いを込めて編集していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

次回は秋号予定、創立110周年記念号となります。お楽しみに！

＊ホームズ君はだいぶ年寄りになってきましたが相変わらず元気で過ごしていますよ！これからも応援よろしくお願いします。

編集員　林原年彦